



城里町「あそび会」活動紹介

「こんにちは!」。午後2時前、笑顔の子どもたちが城里町の那珂西第3区公民館に集まって来ました。毎月1回、地域の子供たちとその保護者、ボランティアの方など、約30人が参加して、共に遊んだり地域について学んだりしています。この日は、車イスやアイマスクを使って体の不自由な方への理解を深める福祉体験、危険な個所や消火栓の場所をチェックしながら歩く地域探検、そして楽しいゲームなどをして過ごしました。

孫たちの為に思い出づくりを...

この「あそび会」を企画・運営しているのは「子育て支援ボランティア はんどちゃん」の皆さんです。代表の住谷里子さんは「孫のために何かやるか」という気持ちで、この活動が始まった経緯を振り返ります。



初めてのアイマスク体験

最近、行動範囲が狭く自宅の周辺と友人の家しか知らない子どもが多いそうです。忙しい親世代もなかなか子どもたちと過ごす時間が持てません。そこで「おじいちゃんおばあちゃんの世代が地域のことを教えたり、子ども時代の楽しい思い出作りを手伝ってあげたい」という思いから「あそび会」が始まりました。

当初は高校生会や社協の男塾など、他のボランティア団体と連携して企画していましたが、参加者の調整などが難しかったため、現在は「はんどちゃん」のメンバーが中心になって活動するようになりました。



代表の住谷里子さん



みんなで作った餅は「ならせ餅」にしたよ



みんなが地域探検の寶幢院前で

たくさんの貴重な体験

地域探検では防災や防犯の他にも、神社に祭られている神様のことや畑の作物のことなど、行く先々でいろいろな話をしながら歩きました。



赤いとびらの中にはホースが入っているんだね

正月には自分たちでついた餅で「ならせ餅」を作り、地域の風習に触れました。竹馬、剣玉などの昔のながらの遊びも楽しんでいます。

経験も知識も豊かなシルバー世代とのふれあいは、子どもたちにとって貴重な体験のようです。



今日も燃えたビー玉送りリレー



高い点数をねらっての輪投げ

お知らせ
平成20年度「福祉教育研究セミナー」開催決定
期日 11月25日(火) 10:30~16:00(予定)
会場 茨城県総合福祉会館(水戸市千波町)
内容 実践発表 シンポジウム等
※関心のある方は県社協まで (TEL029-243-3805)

